

ASA バージョン 9.0(1) 以降での show xlate の出力の「X」接続フラグについて

内容

[概要](#)

[ASA バージョン 9.0\(1\) 以降での show xlate の出力の「X」接続フラグについて](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、ASA バージョン 9.0(1) 以降の show xlate コマンドの出力に表示される「X」接続フラグについて説明します。

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

Q. ASAバージョン9.0(1)以降のshow xlate出力の「x」接続フラグは何ですか。

A. 「x」フラグは、接続が「セッション単位」のPAT xlateを使用することを示します。

以下が一例です。

```
ASA# show conn address 10.107.84.210
55 in use, 108 most used
TCP outside 10.107.84.210:443 dmz 10.36.103.86:53613,
  idle 0:00:30, bytes 18155, flags UxIO
TCP outside 10.107.84.210:80 dmz 10.36.103.86:52723,
  idle 0:00:57, bytes 2932, flags UxIO
```

ASA#
ASA バージョン 9.0(1) 以降では、TCP または UDP ベースの DNS 接続が閉じると、接続が使用した PAT xlate が xlate の表からデフォルトでただちに削除されます。この動作は、接続がダウンした後、追加で 30 秒タイムアウトする間、ダイナミック xlate が表にとどまるという動作をする、9.0(1) より前のソフトウェアバージョンとは異なります。

この動作をイネーブルにするデフォルトのコマンドは、show run all xlate コマンドを指定した設定で確認できます：

```
ASA# show run all xlate
xlate per-session permit tcp any4 any4
xlate per-session permit tcp any4 any6
xlate per-session permit tcp any6 any4
xlate per-session permit tcp any6 any6
xlate per-session permit udp any4 any4 eq domain
xlate per-session permit udp any4 any6 eq domain
xlate per-session permit udp any6 any4 eq domain
xlate per-session permit udp any6 any6 eq domain
```

ASA#

ASA がバージョン 9.0(1) より前のソフトウェア バージョンから 9.0(1) 以降にアップグレードされると、レガシーが 30 秒タイムアウトする動作は、特定の xlate per-session deny ルールを設定に追加することによって維持されます。

アップグレードされずにバージョン 9.0(1) 以降を実行する ASA には、デフォルト規則が適用されず (上記の出力例を参照)。バージョン 9.0(1) 以降にアップグレードされた ASA は、次の出力例に示すように、デフォルト以外の明示 xlate ルールが適用されます :

ASA# **show run xlate**

```
xlate per-session deny tcp any4 any4
xlate per-session deny tcp any4 any6
xlate per-session deny tcp any6 any4
xlate per-session deny tcp any6 any6
xlate per-session deny udp any4 any4 eq domain
xlate per-session deny udp any4 any6 eq domain
xlate per-session deny udp any6 any4 eq domain
xlate per-session deny udp any6 any6 eq domain
```

この出力例で示す xlate コマンドは、バージョン 9.0(1) へのアップグレード中に追加され、セッションごとの xlates をディセーブルにして以前のバージョンの動作を維持します。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。